

日時：平成29年3月14日（火）
午後2時から

場所：日立池の川さくらアリーナ
出席委員：15名（26名中）

1 開会

2 委員長あいさつ

委員長： 昨年の6月から9か月間、各委員から様々な意見をいただき、審議・検討を重ね、本日を迎えることができた。本日は、答申の最終的な確認となる。宜しく願います。

3 確認事項

（1）第5回日立市総合計画後期基本計画策定委員会の議事録について

事務局から、前回議事録について内容の確認を求めたところ、委員からは特に修正の指摘はなく、市のホームページに掲載することが了承された。

4 議事

（1）後期基本計画（答申案）について

（事務局から、資料1「後期基本計画答申案について」及び資料2「資料編」に基づき説明）

委員長： 概ねこれまでに出了された各委員の意見がよく反映された内容となっているのではないか。この案で答申して良いかと思うが、意見があれば出していただきたい。頁番号や字句の修正等の軽微な修正については事務局に一任し、市長に提出したいが、よろしいか。

（⇒策定委員了承）

委員の皆様をいただき、審議は全て終了となった。感謝申し上げる。

また、本日の議事録については、出席委員からの発言も無かったため簡素になると思うが、こちらも事務局と私で取りまとめるので一任いただきたい。

（⇒策定委員了承）

ありがとうございます。

5 意見交換等

委員長： 市では他にも様々な会議があるほか、総合計画に関しては、5年後の議論に向けてということもあるため、是非、各委員から、これまでの会議に出席して議論した中での感想や、会議の進め方に対する意見等を伺いたい。

委員： 本日も含め6回の策定委員会を行い、素晴らしい後期基本計画ができたと思う。計画は作って終わりではないので、計画の中で立てられている目標値を達成できるように、市と市民が一丸となって着実に実行していければと思う。

委員： 日立で生まれ、日立で働いている。日立が今も好きである。医療分野では、日立総合病院や、ひたち医療センターなどハード面が整備されてきた。ただし、全国的な問題ではあるが、医師や医療従事者の不足は課題である。自分は高齢だが、頑張っていきたい。日立総合病院から産婦人科の医師が一斉に引き上げてしまい、なかなか回復できていないが、引き続き、市と一緒に努力していきたい。

委員： 今回初めて委員として参加したが、日立市の現状や今後について改めて知ることができ、大変勉強になった。これまでは、行政が我々に対して何をしてくれるのかと考え、ある意味受け身的な立場だったが、この会議に参加し、逆に我々が、これからどのように貢献できるか、を考える機会になった。微力ながら、住みよい日立市になれるよう、後期基本計画が着実に遂行できるよう努力していきたい。

委員： 職務上、県内各地を転勤しており、現在の職場が10箇所目である。日立は気候も人柄も穏やかで、いい方々が揃っていると思いながら毎日仕事をしている。会議の持ち方については、5年後の見直し策定があると思われるが、外側から見られる委員の構成を検討するとよいのではないか。

委員： 日立で生まれ、育ち、働いているが、日立が大好きで、日立のためになることなら何でもやろうと考えていた。この計画策定に関わることができて大変幸せに思っている。行政が出す計画は文字数が多く、なかなか見てもらえないが、今回は写真やカラーが多く見やすくなっていて、(市民の)皆様にも手に取って見てもらえるものになったのではないか。また、難しい問題をよくまとめられたのではないかと思う。

委員： 委員に委嘱され、やらなければと使命感を持った。資料全体に目を通したかったが、自身の関係する内容が主体となってしまい、もう少し見れば良かったかなという思いもある。素晴らしい計画ができたが、今後この内容を市民の皆様、また、観光面で市外の皆様にPRする体制や取組を是非市にはお願いしたい。

委員： 日立で生まれ育ち、今まで日立から出たことがない。素晴らしい人々、温かい人が多い日立で、エキスパートの方々が各界から集まり、貴重な意見を聞いただけでも幸せだった。この会議は今日で終わるが、委員の皆様は様々なことをご存

じなので、今後もこういう機会を続けて意見交換ができれば、日立のためになるのではないかと。

委員： 平成 26 年に、日立おさかなセンターが道の駅になり、県外から多くの方が来て活気がでてきているが、魚の臭い対策が課題である。今後 5 年計画ということであれば、これからはニーズに合った道の駅おさかなセンターにしたい。施設が古くは若者も呼び込みにくい。市の協力もお願いしたい。

委員： 日立は温暖な所で災害が少ない。夏は涼しく冬は暖かい。日立の良さ、温暖なところや災害の少ない所などを宣伝することにより転入者を増やすとよいのではないかと。市として対外的に日立の良さを宣伝いただけたらよいと思う。今後、この 5 か年計画がどのように実行されていくか、見守っていききたいと思う。

委員： 今般、女性の社会進出が進み、社会を変えようという気持ちを持った方も多くなってきたと思う。しかし、日立を見てみると、まだ女性が中心となって出てきていない。市が開催している地域の説明会などをみても女性の姿が少なく、そういう場に出て発言する機会が多くなればよいのではないかと。私はここで生まれ育ったのではなく市外から来た人間であるが、日立に住んでみると、気候も景色も良い恵まれた環境をもう少し PR してはどうかと感じる。実家に帰ると、日立のことを PR するが、なかなかうまくいかず、何か良い方法があればと思う。

委員： 私共の会社は創業から日立市にお世話になっており、今回の委員会に加えていただきましたのはいつもお世話になっている市に少しは恩返しという意図があったと思うが、なかなかお役にも立てず内心忸怩たる思いである。微力ながら、後期基本計画を、従業員、社員への教宣活動で役立てたい。

委員： 日立市出身ではなく、20 年前に転入し住んでいる。市外から入ってきて思うのは、とてもいいところだということ。起業して 10 年になるが、日立の人々に支えられながら育てていただき、ここにいると感じている。今後 20 年は日立の活性化のために何かできることがあればと思う。日立商工会議所にある女性起業家グループの会長を務めて 6 年目になるが、現在、76 名程の会員がいる。元気に活躍する女性がたくさんいて、日立のために何かしたいと思っている。女性が元気なまちは、まちが元気になる。男性が支えることで女性が輝けると思うので、是非そのあたりをお願いしたい。5 年後に目指す姿が実現すれば、きっとすごくいい日立になると思う。もう一つ、銀座通りに自社があるが、旅行者などから、「まちのメインストリートをたずねても、誰も『分からない』と言われる。」と聞かされた。銀座通りと平和通りだと胸を張って言えるように、市からも支援をお願いしたい。

副委員長： 力不足であったが、委員長をサポートしながら、委員各位の闊達な議論を拝聴し大変勉強になった。国内には市町村が 1,700 ほどあり、その全てが計画を立てて、産業の活性化や人口減少を食い止めようとしているが、現実的に人口の奪い合い、産業の奪い合いなどが発生すると思う。今後は 1 自治体が単独で全てのことを賄うのはおそらく難しくなってくる。現実的なのは、周辺自治体をライバルではなく、むしろ連携し合う、役割分担のパートナー関係とみるとよいのではないか。今回、大変素晴らしい基本計画ができた。今後も毎年様々な実施計画が策定されると思うが、周辺自治体との連携等も視野に入れて検討いただければと思う。

副委員長： 立派な基本計画ができた。この計画が絵に描いた餅にならぬよう、ここに住む全ての人達がそれぞれの立場や持ち場で、まちづくりに向かっていくことが大切であろうかと思う。また、私も含めて、今回の委員の皆様には、この計画の実践のリーダーとなってまちづくりを進めれば、この基本計画が更に生きてくるのではないか。私自身、そのような覚悟で頑張っていきたい。

委員長： 13 年前に日立市民になった。日立が大好きな市民が多く、また、私のようによそから来た者でも、日立の良さはわかる。しかし、日立の見るべきところや食べ物のおいしいところに連れて行くと、決まって何も無いと言われる。これだけ恵まれた自然などがあるのに、何も無いと言ってはいけないのではないか。皆が良いところを言えるようになれば一番の PR になる。大阪など、勢いのあるまちはみんなそうである。地方であっても魅力はあり、藻谷浩介さん（(株)日本総合研究所主席研究員）が講演で言うところだが、住民の言葉を「何も無い」から、「ありがたい」に変えたところは人口が増えてきている。私自身もそうありたいし、皆様と共に日立を好きになっていきたいと思う。こうしてできたご縁で、今後ともお会いする機会はあると思うので、引き続きこのテーマを共有したい。

事務局： 昨年 6 月からの 3 月までの短期間に、6 回にわたる熱心な審議と協力をいただいたおかげで、計画をまとめることができた。心から御礼申し上げます。計画策定に当たり今回は特に、市民から意見を伺う機会を数多く設けることができた。全地域コミュニティや大学生等から意見を聞く機会を設けたほか、商工会議所からの協力を得て各種団体にアンケートを実施するなどにより、多くの意見を得られた。また、（基本計画素案に係る）パブリックコメントには、100 件を超える意見が寄せられた。それらの意見を反映した計画ができたと考えている。副委員長からは、「絵に描いた餅とならないように」という言葉をいただいたが、計画に登載した施策事業の進捗管理について、市民の代表者などが参画するような、新たな外部評価の仕組みを考えている。

市民へのPRについては、後期基本計画のダイジェスト版や、更にコンパクトなリーフレットを作成し、市報等と併せて配布するほか、今後は市民懇談会などでも活用しながら、市民への周知を図りたい。組織については、昨年4月から市長公室内にプロモーション推進室を新設し、様々な機会を通じてPRに取り組んでいるが、郷土愛、シビックプライドの醸成を図り、市民の皆様にも日立市の良さをPRいただくよう協力をお願いしたい。

6 閉 会

(以 上)